



放送大学 宮崎学習センター

〒883-8510

日向市本町11-11

☎ 0982-53-1893

FAX 0982-53-1898

向日葵



ご卒業おめでとうございます



【大学院】

人文学プログラム・・・2名

【教養学部】

人間と文化コース・・・6名

生活と福祉コース・・・6名

心理と教育コース・・・6名

社会と産業コース・・・2名



以上22名の方が宮崎学習センターを修了・卒業されました。

平成30年第2学期卒業証書・学位記授与式ならびに
平成31年度第1学期入学者の集いの様子



宮崎学習センター村岡嗣文 所長による式辞



宮崎学習センター振興協議会会長

高森節子 様による祝辞



寺原正喜 様による大学院修了生代表挨拶

～入学者の集いに参加できなかった新入生の皆様～

学生証の受け取りについては、機関紙9ページ「学生証の交付について」をご確認ください。

目次

卒業証書・学位記授与式ならびに入学者の集い挨拶 (宮崎学習センター 村岡嗣文 所長)	2、3
入学者代表挨拶	4
卒業生代表者挨拶	5
卒業生のひとこと	6～8
学生証の交付、通信指導について	9

面接授業の追加登録について	10
退任のご挨拶	11
図書・視聴学習室からのお知らせ	12
事務室からのお知らせ(宮崎市分室)	13
学習スケジュール	14

式 辞

卒業生・修了生の皆さん、卒業・修了おめでとうございます。新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

本日、宮崎学習センターにおける放送大学の卒業証書・学位授与式、並びに入学者の集いを挙げるに当たり、日向市長十屋幸平様を始めご来賓の皆様方には、年度末の大変お忙しい中、ご列席を賜り、厚くお礼申し上げます。

本日卒業・修了される宮崎学習センター所属の学生・院生は22名で、先ほどお渡ししました平成31年3月23日付の学位記は、教養学士20名、学術修士2名です。平成11年3月に宮崎学習センターとして最初の卒業生を送り出してから19年になりますが、本日の時点で本センター所属の卒業生・修了生は650名を超え、651名となりました。

本日の卒業生の中には、平成8年2学期に宮崎学習センターが開設した半年後の平成9年の一学期に入学された方が1名います。今回の卒業が5度目です。

今期卒業・修了される皆さんの年齢構成をみますと、60歳以上が8名、40代・50代が11名、40歳未満が3名です。最年少は27歳で、最高齢は72歳です。幅広い年齢層の卒業・修了生の皆さんは、入学の動機・目的も個人個人で違っていたでしょう。また、在学中の学習環境も様々で、仕事しながら、或いは家族のお世話しながら、また病気や障害と戦いながら、或いは高齢のハンディを抱えながら、それぞれご苦勞を乗り越えて今日のこの日を迎えられることと思います。机に向かって勉強だけをしていればよいような恵まれた環境の方は、極々少数だったと思います。卒業・修了は確かに一つのゴール地点です。しかし、決して終わりではありません。新たなスタート地点でもあります。本日改めてスタート地点立った卒業生・修了生の皆様の新たな門出の饒に、「急がず、焦らず、じっくりと、されど休まず、地道に、兀々と」という言葉を贈ります。今の時代にはテンポが合わないかもしれませんが、むしろ今だからこそ、ゆとりを持って着実に知識を身につけ、華々しくないかもしれないけれど、新たなそして確かな道を切り開くことが必要とされているのではないかと思います。新たな明日に向かって、焦らずに兀々と精進してください。

私事ですが、私も3月31日には一週間遅れで、皆さん方と同様に放送大学宮崎学習センター所長を卒業し、来年度からは、放送大学の学生として、本日の新入生の皆さんと一緒に新たなスタートを切ります。

同級生となる新入生の皆さん方に、一段高いところから申し上げることは複雑な気持ちです。しかし、現時点ではまだ宮崎学習センターの所長ですので、自分を含めて新入生の皆さんに申し上げます。宮崎学習センターに所属する新入生は、教養学部126名、大学院文化科学研究科修士課程10名、合わせて136名

です。教養学部学生は、全科履修生 45 名、選科履修生 45 名、科目履修生 35 名です。大学院生は、全科履修生 4 名、選科履修生 5 名、科目履修生 1 名です。新入生の皆さん方は、学位を取得したい人、各種の資格を取りたい人、教養を深めたい人、私と同様にもう一度大学の授業にチャレンジしてみようと思う人など、入学の動機は様々だと思います。また、年齢も若い方から高齢の方まで幅広く、職場で非常に忙しく働いている人から定年退職を迎え、悠々自適な生活を送っている人、或いは家庭にいて家族の世話を追われている人など、本日の卒業・修了生と同様に学習環境は様々だと思います。一つだけ共通しているのは、放送大学での受講は、自宅学習が中心の孤独で一方通行的側面が強いために、今後いろいろな困難に直面することもあるかと思っています。そこで、新入生の皆さんにも卒業・修了生への餞と同じ言葉、「急がず、焦らず、じっくりと、されど休まず、地道に、兀々と」を贈りたいと思います。私も老骨に鞭打ちながら、この言葉のように学びたいと思っています。新入生の皆さん、一緒に頑張りましょう。そして、使える知識を着実に身につけ、入学の目的・目標を必ず達成しましょう。

宮崎学習センターには、4 月から着任される新学習センター長を含めて 7 人のスタッフがいます。皆さん方のお世話をしますので、何でも気軽に相談してください。そして、実りある学生生活を送ってください。

最後になりましたが、宮崎学習センターの運営や所属学生の学習活動にお力添えをいただいております、「日向市」並びに「日向市放送大学宮崎学習センター振興協議会」に感謝申し上げまして、挨拶といたします。

平成 31 年 3 月 24 日
放送大学宮崎学習センター
所長 村岡 嗣文



卒業証書・学位記授与式ならびに入学者の集い開催

3月24日（日）13時から、日向市中央公民館で「卒業証書・学位記授与式」ならびに「入学者の集い」が開催され、29名が参加されました。それぞれの目標に向けて新たな出発をされる卒業生、新入生の皆様おめでとうございます。



～入学者の集いに参加が出来なかった新入生の方へ～

ご希望があった方に入学者の集いで配布した葉やサークル紹介チラシ等をお渡ししています。学生証の受渡しについては9ページをご覧ください。

入学者代表挨拶

教養学部入学者代表 全科履修生 川名 智子さん

（前文略）私は、12年前に、大学を退学しております。当時の専攻は、地理学で、教職課程も受講しておりました。教科教育法の講義で大変お世話になった恩師は、中高一貫校の現役の教師であった為、“学び”について、たくさんの事を教えてくださり、また、講義のアシスタントとして、私を起用して下さいました。そして、私も、本当にあと少しで、教師になれるはずでした。

しかし、私は、大学入学後に、精神障害を発症し、全く講義についていけない状態でした。当時、所属していた部活も、1年で退部し、全国大会への夢も叶いませんでした。

4年間、最高の環境にしながら、自分に負けてしまいました。学費を出してくれた両親には、本当に申し訳なく思いました。

大学を卒業できなかったこと、教師になれなかったことを、ずっと悔やみ続けてきました。大学は必ず卒業したいと思いながら、12年。本気で学びなおしたいという気持ちが日に日に強くなり、入学を決めました。大学で学べるのが、本当に嬉しく、本日こうして、代表のご挨拶をさせていただいていることを、光栄に思っております。

現在、私は、障害を抱えながら、宮崎市内の就労継続支援A型事業所で、一般就労に向けて、訓練をしております。入社から昨年未まで、記帳代行業務を行ったことがきっかけで、経営学に興味を持ち、今回、社会と産業コースを選択いたしました。分野をこえて、幅広く学習できるのは、放送大学の魅力だと思っております。

これから、仕事をしながら、勉学に励むこととなりますが、先生方や学習センターの皆様のお力をいただきながら、他の学生の皆様と共に、楽しんで学んでいきたいと思っております。（後文略）

卒業生代表挨拶



大学院入学者代表 修士全科生 寺原 正喜さん

(前文略) 退職後、再任用で英語の教師として、主に受験指導をしながらのこの2年間の勉強でしたが、大学生の頃よりずっと真面目に取り組めたと自負しています。休みの午前中にネットにかじりつきました。「人文学プログラム」は、全て楽しく知識欲をそそられ、できれば残って受講を継続してみたい分野です。思い出深いのは、他分野プログラムから選択した2科目の中の一つの「宇宙・自然システムと人類」を一回目に落としてしまったことです。内容は楽しいのに、文系バカの私には難しく再度挑戦となりました。2回目の合格の評価「A」は本当に嬉しかった。身内にメールしまくりでした。そして、論文は、担当の宮本陽一郎教授に多大なる指導をいただきました。タイトルは「若山牧水の英訳と英語圏における受容について」で、最終的に「A」をいただきました。皆さんそうだったのかもしれませんが、私としては、正直「B」か「C」を覚悟していたので、この上ない喜びでした。

宮本先生から、「本に出してみたらどうですか」と何回か言われて、本当に軽いお気持ちで言ってくださったので、私はその気になってしまい、野心もどこかにあったので、今その準備を少しずつ進めているところです。今年の夏ごろに形にして出版したいと考えています。皆様、その折にはぜひご一読ください。この学びを今後とも続けて、「牧水英訳101首目からの挑戦」につなげていこうかなどと夢を膨らませています。

(後文略)



教養学部入学者代表 全科履修生 濱砂 睦仁さん

(前文略) 私と本学との出会いは妻が入学案内の資料を持ち帰ったことから始まりました。私は高校卒業から20年経過していることもあり、はたして学習についていけるか疑問でしたので選科履修生にて入学しました。自信を持って臨んだ、単位認定試験ではレベルの高さに困惑し単位取得の厳しさを痛感することになりました。1年目はなんとか32単位修得し修業年限通算にて全科履修生に2年次入学をして、それからは年数で見れば順調に卒業を果たしたと思われがちですが、試験には苦勞しました。日ごろから印刷教材は常に携帯して我武者羅に勉強しました。教科によって難易度は千差万別であるため、幾度も繰り返し印刷教材を読み込み試験に臨み、試験が終わった後の解放感は何物にも代えがたいものであり至福の時でした。また面接授業では様々な年代の方々との出会いがあり、お互い触発され、サポートをいただいたり、時には励まされ、この素晴らしい出会いに思いを馳せると、本学での忘れられない大切な思い出です。

孔子の論語の巻頭に一節に「学びて時にこれを習ふ、また説(よろこ)ばしからずや」とあります。人生は学び続けて、活用できるようにしておく。なんと素晴らしいことであろう。という意味で私は理解しています。放送大学での学びにも通じるものがあるのではないかと感じています。私自身本学で知識を活用する知恵を育み、自分の視野を大きく広げ私の人生に彩りがついてきたと実感しています。

最後になりますが、私たちは「学びたい」という信念を持って入学し今日卒業を迎えるとともに、新たなスタートラインに立ちました。この学びを私たちはどのように活かしていくか私たち卒業生一人一人が考え、行動していく事が使命だと考えます。(後文略)



前田 敏朗 様

今回、心理と教育専攻を卒業することが、やっと…という感じでできました。今年は色々あり、なかなか時間がとれずに…。でも今まで、まわりの人達の理解もあり、自分の好きなことをやらせてもらったことに感謝の気持ちでいっぱいです。放送大で会った仲間やセンターの職員教授等の励ましもあり、ここまでやってこられたのだと思っています。ありがとうございました。

時松 鉄男 様

当初、選科履修生からスタートした私の放送大学での学びは、両親の介護のため5年間の中断もあって16年後のこの春無事に終えることになり、その課程でお世話になった友人や宮崎学習センターを支えてこられた先生や職員の皆さんへ感謝の気持ちでいっぱいです。

私は今年68歳を迎え、学びを振りかえりつつ人が生きるとは何なのかを考えて心理学への新たな道を踏み出そうとしています。

希望を抱きつつ。

田上 裕樹 様

大学卒業を目標に入学し、途中休学を挟み、10年目でようやく卒業となりました。苦しみもありましたが、またそれは学ぶことの楽しみにも繋がりました。面接授業でも興味深い話をたくさん伺う事ができました。先生方には、これまで多くのご指導有難うございます。最後に家族にはいろんな面で協力してもらった事、感謝します。

柴田 俊一 様

卒業まで13年かかってしまいました。卒業など考えず、好きな教科を学んでいました。いつのまにか卒業になり、実感はありません。

物事は終わったと思った時にはすでに始まっていると思います。私は放送大学ですばらしい人達と知り合いになりました。

又、学習センターの職員、所長大変お世話になりました。感謝してお礼を申し上げます。

村社 文子 様

人生の節目である還暦に入学し、古希を迎える今年、3回目の卒業となりました。学習する中で働きながら学ぶ大変さを痛感しました。学習して得た知識により、自身の病気の早期発見、早期治療をすることができました。

又、面接授業や研修旅行で出会った方々との交流もでき、楽しい学生生活を送ることができました。9年間支えてくれた家族や学友、学習センターの皆様には感謝しています。学びは「心の糧」だと思います。ありがとうございました。

峯松 洋子 様

数年前、不覚にも体調を難しくしてしまい、以後は体調と年齢と仕事を考えながら最小限の科目でゆっくりと学生生活を過ごしてきました。それでも、おかしなことに、レポート提出には相変わらずいつもあわてふためいていました。成績も振るわなかったのも、今回は思ってもみなかった卒業です。

職員の皆様には、いろいろと支えて下さりまして有り難うございました。心より感謝申し上げます。今後、継続入学をしてゆっくりと学び直しをしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

<p>緒方 美穂 様</p> <p>5年をかけて卒業を迎えることができ、自信につながりました。支えてくれた家族や職場の同僚に感謝します。</p>	<p>森 幸代 様</p> <p>宮崎学習センター教・職員の皆様方に大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。</p>
<p>中村 育代 様</p> <p>やっと卒業できました。 お世話になり、有り難うございました。</p>	<p>重信 淳子 様</p> <p>卒業まですごく時間がかかって、大変な時もあったけど楽しい歳月でした。 ありがとうございました。</p>
<p>飯田 亮 様</p> <p>私は、3年次編入学を利用して良かったと思います。両親や宮崎学習センターのスタッフ、様々なサポート配慮があり、テキストや通信教材で学ぶ意欲を持って努力した結果だった。今後も感謝の気持ちを持って、様々な事にチャレンジして行きたい。</p>	<p>寺原 正喜 様</p> <p>学生に戻って、本当に楽しい2年間でした。論文もがんばりました。大学の時よりも「気」を入れたと思います。「A」をもらい素直に嬉しいです。 夏頃出版予定です。御一読下さい！</p>
<p>齋藤 幸子 様</p> <p>ようやく、やっとの卒業！！じわっと感動で心が満たされる想いがいたします。自分のペースで学べること、自分の学びたい分野、興味関心で進められること…自由人な私にとって最適な学びの学校でした。もちろん興味以外でも広い領域で選択するので、世界も広がり、結果的に今後の人生に大きな自信と希望をもつことができました。自分の勇気とがんばり、そして放送大学の先生方、関係各位に対して心から感謝申し上げます。ありがとうございました。</p>	
<p>岡 智江 様</p> <p>在学期間10年は私にとって長いようで短かった。 短大で修得した単位で編入学も可能だったが、一から勉強したくて124単位修得を目指すことにした。しかし、自分の時間とお金を考えながらのんびり科目を選択していたら卒業までに10年と再入学1学期かかってしまった。 どうしても受けたかった二人の先生の面接授業を受けに県外まで行き、テレビ放送とはまた違う素晴らしい授業を直接受けられた事は大きな喜びだった。また、入学の動機が韓国語の勉強だったので、ハンゲル宮崎交流会“ハナルンサークル”でのサークル活動も学生生活を楽しくしてくれた。 放送大学で出会った皆さま、そして理解と協力をしてくれた家族のおかげで無事に卒業することができました。感謝、感謝です。</p>	

<p>濱砂 睦仁 様</p> <p>この度二度目の卒業になりました。学習センターの皆様、家族や学友に支えられての卒業です。放送大学での学びを社会や人生に活かして歩んでまいります。</p> <p>また近いうちに再入学します。</p>	<p>三輪 晴美 様</p> <p>心理学で学びたい事があり入学希望しましたが、結局は自分の仕事に活かせる科目を学んでいきました。放送大学で自分のペースで学べた事がとても楽しく続けられた事と思います。色々お世話になりました。</p>
<p>志々目 正一郎 様</p> <p>皆様のおかげで無事卒業することができました。10年間かかりました。</p> <p>当初とまどいもありましたが、今となれば良い思い出ばかりです。教科書、面接、いずれも勉強になりました。家庭教育論、持続可能な社会多々あります。これからに生かしていきたいと思えます。ありがとうございました。</p>	<p>柏田 君子 様</p> <p>卒業の日を迎えることができ、満足感と安堵の思いで一杯です。每期5科目前後を履修することで卒業の門に至ることができました。学ぶことで未知の世界に触れたことが退職後の人生を「楽しい、わくわく、新しい、珍しい」にかえてくれました。</p> <p>学習センターの皆様、放送大学の仲間達、そして96歳の母に感謝申し上げます。</p>
<p>荒木 崇之 様</p> <p>この度、放送大学大学院修士課程を修了することになりました。指導教官の島内先生を始め、御指導をいただいた先生方、並びに宮崎学習センターの職員の方々のお陰です。本当にありがとうございます。</p> <p>最近、いろんな場面で「平成最後の」というフレーズを耳にします。私は平成元年に大学に入学し、平成最後の年に修士課程を修了することになりました。平成が自分にとってどんな時代だったかを考えずにはられません。卒業式を英語で Commencement Exercises とすることがあり、commencement は「はじまり」という意味だそうです。平成は私にとって真の学びのための長い準備期間だったのかもしれませんが。そして次の時代はそれを実践する時ではないかという気がしています。果てしない学問の道のスタート地点に立たせてもらった、ということでしょうか。これから心新たに勉学に努めたいと思えます。放送大学関係者の皆様には今後ともお世話になると思えます。よろしく申し上げます。</p> <p>最後に、これまで御指導を頂いた皆様ありがとうございました。これからも一層の御指導、御鞭撻よろしく申し上げます。</p>	

寄稿いただきありがとうございました。

平成30年度第2学期、宮崎学習センターから20名が教養学部を卒業、2名が大学院を修了しました。

センター職員一同、心よりお祝い申し上げます。

■学生証の交付について■

4月入学者（再入学者を含む）、並びに全科履修生で有効期限切れの学生証をお持ちの方は、宮崎学習センターにおいて学生証の交付を受けてください。学生証の受取に際して、入学者（再入学者を含む）の方は「入学許可証」を持参し、有効期限切れの方は「有効期限切れの学生証」をご持参願います。

なお、宮崎学習センターにおいて学生証の交付を受けられない方は、次ぎの何れかにより学生証をお受取りください。

■ 宮崎市分室での受取

- ・宮崎市教育情報研修センター（宮崎市旭 1-4-1：宮崎小学校隣り）1階に宮崎学習センターの宮崎市分室があります。
- ・宮崎市分室での受取は土曜日のみです。受取を希望される方は必ず事前に宮崎学習センターへご連絡ください。分室の開室日や利用時間は「学習センター利用の手引き」をご覧ください。

■ 単位認定試験会場（南宮崎ランチ試験場）での受取

- ・単位認定試験を受験する際は、学生証が必要となります。
- ・単位認定試験受験日に受取を希望される方は、事前に宮崎学習センターへご連絡のうえ、受験開始時間前に余裕をもって来場され、試験実施本部にて学生証の交付を受けてください。

■ 郵送による受取

- ・郵送による受取を希望される方は、以下の書類を同封して宮崎学習センターへ送付してください。
 - ①白紙に、郵送による学生証交付希望と書き、氏名・学生番号・電話番号・学生の種類を記入したもの。
 - ②新規・継続入学生は、「入学許可証」と「運転免許証などの顔写真の入った証明書」のコピー
 - ③有効期限切れの方は、「有効期限切れの学生証」。
 - ④返信用封筒：長3又は長4（宛名を記入し、82円切手を貼付したもの）

※ 学生証は、顔写真がシステムWAKABAに登録されないと交付できません。未登録者は「学生生活の栞」の18ページの登録手順により登録してください。

通信指導について【郵送：5月21日～6月4日（郵送：必着 WEB：17時）】

単位認定試験を受けるためには、この通信指導を提出して合格する必要があります。

提出された答案は担当教員が添削指導を行い、添削結果により、単位認定試験の受験資格が得られます。

■Web 通信指導による提出の場合■【Web 通信指導提出期間：5月21日10時～6月4日17時】

提出については、一部の科目を除き、郵送によるものの他、インターネット上で通信指導問題の提出・解説の閲覧ができる「Web 通信指導」が利用可能です。対象科目、受講方法等について、詳しくはシステム WAKABA をご覧ください。

■未提出または期限までに到着しなかった場合■

単位認定試験の受験資格が得られません。

ただし、新規に科目登録した学期に答案を未提出だった場合あるいは期限までに到着しなかった場合、又は単位認定試験の受験資格を得られなかった場合には、次の学期に学籍がある場合に限り、科目登録を行わなくても再度通信指導を受けることができます。（学籍が切れてしまう方は、改めて入学手続きが必要です。）

面接授業の追加登録について

定員に余裕のある科目は「追加科目登録」をすることによって受講できます。
一度登録した科目の変更・取消および授業料の返還はできませんのでご注意ください。

空席発表日：4月13日（土）12時

【対象者】

2019年度第1学期に学籍のある全ての全科履修生・選科履修生・科目履修生

【宮崎学習センター】

追加登録開始日：4月19日（金）10時

追加科目登録期間について

追加科目登録期間*1：4月～7月開講の授業
4月19日（金）～科目ごとに定められた追加登録受付期限日まで*2
（原則として、開講日の1週間前、一部例外あり*3）

- *1 追加登録期間前に開講する科目については、追加登録は行なっておりません。
- *2 各科目の追加登録受付期限日については空席発表時に、システム WAKABA に掲載します。追加登録受付期限日の前であっても、定員に達し次第、受付を締め切ります。
- *3 授業準備の都合上、追加登録を受け付けられない科目、又は1週間前まで受け付けられない科目がありますのでご了承ください。

追加登録に必要なもの

センター窓口で申請する場合	※郵送する場合 (現金書留で送って下さい。)
<p>追加登録開始日の10時より受け付けます。</p> <ul style="list-style-type: none">➢ 学生証（入学許可書でも可）➢ 授業料（1科目5500円）➢ <u>追加登録申請書</u> ➡センターにも置いてあります。	<ul style="list-style-type: none">• 学生証の写し（入学許可書の写しでも可）• 授業料（1科目5500円）• 追加登録申請書• 82円切手を貼った返信用封筒（宛名明記）

郵送による申請で、4月17日（水）までに到着したものは、受付初日来所者と同等の扱いとし、希望者が定員を超えた場合は抽選にて登録します。それ以降の到着分は先着順です。

※郵送についての注意

書類や授業料が不足していた場合、登録できない可能性があります。必ず必要書類が入っているか確認して現金書留でセンターまで送付してください。

空席がない場合、追加科目登録期間中に書類が届かなかった場合は、科目の登録ができません。

科目登録ができなかった場合は、送金された授業料から現金書留にかかる費用を差し引いた金額を返金いたします。

退任にあたって

放送大学宮崎学習センター

前所長 村岡 嗣文

2年前に初めて日向市駅のホームに降り立ったのがつい昨日のようです。日豊線を通る度に車窓から眺めるプラットホームが新幹線駅のように蒲鉾形に覆われている印象深い馴染みのある駅です。しかし、降りるのは初めてでした。高等学校以来、半世紀ぶりの電車通学（勤！）、懐かしさも手伝って心躍るものがありました。しかし、日南線木花駅から日向市までの電車は、雨に弱い日南線が大幅に遅れることもあり、家を出てから日向市まで3時間程かかったこともありました。また、帰りの電車で架線事故に遭遇し、佐土原駅に停車した数分後には車内が真っ暗、待てど暮らせど復旧せず、激しい雨の中、路線バスで橘通りまで帰ったこともありました。2017年台風22号の接近では、夕方から夜半にかけて猛烈な雨になり、宮崎駅には着いたものの、駅のバス停は水浸し、何とかバスに乗れましたが、道路は水が溢れ、あちこちで通行止め、最徐行の上何度も迂回して家近くまでやっとたどり着きました。バスを降りると水が膝まで、そのまま川と化した道路を歩いて家に着いたのが9時過ぎで、学習センターを出て4時間を過ぎていました。短い2年間の通勤でしたが、今となっては思い出に残る経験です。

通勤では思いがけない経験もしましたが、宮崎学習センターでの生活は新鮮さと驚き、戸惑いの連続で、少なからずカルチャーショックを受けました。最初は面接授業でした。面接授業の何たるかすら分からないままに、所長就任1ヵ月後の5月連休明けから、面接授業の担当講師を求めて、県内の大学を彷徨いました。面識のない先生が大半でしたので、どうせ知らない先生にお願いするのなら、怖いもの知らずで、今まで面接授業をやったことがない先生を中心にお願いすることにしました。要領を得ない説明を嫌がらずに辛抱強く聞いていただいた先生方には心から感謝しておりますし、今思えば、あの説明でよく引き受けてくださったなあと感慨深いものがあります。

最大のカルチャーショックは、何と言っても放送大学の学生です。卒業式後の茶話会で「親の介護をしているけれど、親が寝るまで起きていなければならなく、その時間に何もすることがないので勉強することにして、放送大学にはいました。」とか、「家業の手伝いをしていますが、慣れてくると暇な時間があることが分かり、その時間も利用して何とか4年間で卒業できました。」という話を聞き、「これが放送大学生か」と感動したことが脳裏に焼き付いています。また、老若男女を問わず、多くの学生が、勉強できることに喜びを感じ、勉強することに誇りを持っていることにも深い感銘を受けました。

2年間という短い期間ではありましたが、数多くの貴重な体験や感動を味わうことができました。本当に有り難うございました。

生涯学習の精神を忘れず、「急がず、焦らず、じっくりと、されど休まず、地道に兀

元と」学び続けてください。

図書・視聴学習室からのお知らせ

図書・視聴学習室に入室の際は、
「学生証」を受付カウンターに提示してください！



図書資料の閲覧・貸出について！

- ❖ 宮崎学習センターでは、辞書・年鑑等の資料や授業に関連した各分野の代表的な書籍・雑誌等を備えています。図書・視聴学習室内で自由に閲覧することができます。
- ❖ 図書の貸出については、放送大学附属図書館から取り寄せてからの貸出になります。附属図書館所蔵の図書資料の貸出冊数・期間は、下記の通りです。

	教養学部	大学院(修士)	大学院(博士)
貸出冊数	10冊まで	20冊まで	30冊まで
貸出期間	31日	31日	31日
センターに貸出できない資料	刊行後1年未満の雑誌・貴重本・大型本・美術書の一部等		
センター内利用資料 (センター外への持出不可)	参考図書・製本雑誌・白書・雑誌(刊行後1年以上経たもの) 利用期間：最大2週間		

Wi-Fiの利用について！

学習センターでは、Wi-Fi環境が整っているので、個人所有のパソコン・スマートフォン・タブレット端末によるインターネット接続が可能です。

(全国の学習センターでも同じID及びパスワードでインターネット接続が可能です。)

❖ 利用方法

①放送大学が指定するeラーニングの情報セキュリティ研修を受講し、小テストに合格すると発行される「修了証」とともに、「無線LAN利用申請書」に所定の事項を記入の上、図書・視聴学習室にて申請手続きを行ってください。

※「情報セキュリティ研修」は、システムWAKABA> 放送大学自己学習サイト> 情報セキュリティ研修(学生用)より受講できます。「修了証」の提示が無い場合は、申請を受付できません。

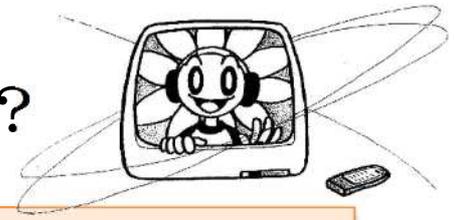
②交付された「無線LAN利用許可書」に記載されているSSIDに接続し、同許可書に記載されているID及びパスワードを入力することでインターネット接続ができます。なお、接続は各自で行ってください。

ご不明な点がございましたら、図書・視聴学習室担当までお尋ねください。



～宮崎市近郊にお住まいの方へ～

宮崎市分室で学習しませんか？



- 放送大学で行われている科目のほとんど(オンライン授業等一部を除く)が視聴できます。
 - 教材は全てDVD・CDとなっていますので、インターネットが苦手な方もOK！
 - 毎週土曜日は過去問題の閲覧が可能となっています。
- 学習相談や学生証の受渡をご希望の方は事前にご連絡ください。
- 大学院学生論文集「オープンフォーラム」第4号～最新号までの閲覧が可能となっています。

宮崎市及び宮崎市教育委員会のご協力を得て、「宮崎市教育情報研修センター」の1階に「放送大学宮崎市分室」を設けています。火曜・木曜の平日は放送大学学生のボランティアで運営し、土曜日は放送大学職員により開室しています。施設は静かで、学習に適した環境だと利用者の方々から大変好評です。



利用できる日	利用時間
火曜・木曜 (学生ボランティアの方が対応)	10時～16時
土曜 (宮崎学習センター職員が対応)	9時～16時

学生ボランティア募集中！！



宮崎市近郊にお住まいで、火曜・木曜の平日にご自分の学習をしながら、他の学生さんの学習を支援していただく学生さんを募集しています。

午前：10時から13時 午後：13時から16時

午前か午後のどちらかご希望の時間帯に、月に2回程度お願いしています。ご協力をいただける方は宮崎学習センターへご連絡をお願いします。(TEL：0982-53-1893)

宮崎市分室 (宮崎市教育情報研修センター1階) 〒880-0803

※電話は設置しておりません。

宮崎市旭1丁目4-1

学習スケジュール

4月	センター閉所日・・・ 1日・8日・15日・22日・29日・30日	
	宮崎市分室・・・ 火・木曜（10時～16時）土曜（9時～16時）	
1日（月）	放送授業開始 第1学期 単位認定試験受験会場変更願受付開始（郵送：～5/24 Web：～5/31）	
5日（金）	オンライン授業開始	
10日（水）	教員免許更新講習受講申込受付開始（～5/17）	
13日（土）	第1学期面接授業空席発表	
13日（土）・14日（日）	面接授業「現代日本の政治について考えよう」（宮崎市）	
19日（土）	第1学期面接授業追加登録開始	
20日（土）・21日（日）	面接授業「発音クリニック2（初級）」 （宮崎市）	面接授業「食品製造と分析論」 （宮崎市）
29日（月）	閉所日（昭和の日）	
30日（火）	閉所日（国民の休日）	

5月	センター閉所日・・・ 1～6日・13日・20日・27日	
	宮崎市分室・・・ 火・木曜（10時～16時）土曜（9時～16時）	
1日（水）～6日（月）	閉所日（憲法記念日・みどりの日・こどもの日）	
11日（土）	面接授業「新・初歩からのパソコン」 （日向市）	面接授業「地域資源と地域振興」 （宮崎市）
12日（日）		
14日（火）	第1学期 通信指導提出開始（Web：～6/4 17時迄）	
18日（土）・19日（日）	面接授業「里山の生態系サービス」（日向市）	
21日（火）	第1学期 通信指導提出開始（郵送：～6/4 必着）	
25日（土）	面接授業「伝統文化にみる南・北九州の比較」 （日向市）	面接授業「中国語基礎」 （宮崎市）
26日（日）		

6月	センター閉所日・・・ 3日・10日・17日・24日	
	宮崎市分室・・・ 火・木曜（10時～16時）土曜（9時～16時）	
1日（土）・2日（日）	面接授業「日本近代文学を読む」（宮崎市）	
8日（土）・9日（日）	面接授業「現代の地域政策の課題を考える」（日向市）	
15日（土）	第2学期 学部・大学院[選科生・科目生]第1回出願受付開始（～8/31）	
15日（土）	面接授業「色の科学と文化史」 （日向市）	面接授業「健幸予防医学」 （宮崎市）
16日（日）		
22日（土）・23日（日）	面接授業「心理学実験1」（日向市）	
29日（土）	面接授業「問題解決の進め方」 （日向市）	面接授業「食品安全学」 （宮崎市）
30日（日）		